



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 日本化学産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4094 URL <https://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 百瀬 譲 (TEL) 03-5246-3540  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,874	15.3	1,710	△14.3	1,943	△9.0	1,288	△15.7
2022年3月期第2四半期	11,163	28.0	1,996	140.5	2,135	124.0	1,528	135.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 525百万円(△72.1%) 2022年3月期第2四半期 1,884百万円(23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	65.31	—
2022年3月期第2四半期	76.85	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	49,379	42,181	85.4
2022年3月期	49,487	41,973	84.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 42,181百万円 2022年3月期 41,973百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2023年3月期	—	16.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2022年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,670	12.5	3,300	△21.9	3,540	△21.5	2,440	△24.6	122.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	20,680,000株	2022年3月期	20,680,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	949,396株	2022年3月期	949,396株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	19,730,604株	2022年3月期2Q	19,894,055株

注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行 (役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式 (2023年3月期第2四半期82,345株、2022年3月期82,345株) が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行 (役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)のわが国経済は、7月以降の新型コロナウイルスの感染者急増から足元では一服感があるものの、いまだその収束の目途は立っておらず、経済活動への影響が続いております。また、長期化するウクライナ情勢に起因する資源・エネルギー価格の上昇や急激な円安による物価高騰等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは引き続きコロナ対策を徹底するとともに、需要を的確に捉え、きめ細かい対応を図ることにより、既存製品の販売・生産数量の確保・拡大に加え、新製品・新規用途開発品の早期の実績化及び新規ユーザーの開拓を推進するなかで、薬品部門でのリサイクル原料の活用・拡大や会社全体での更なるITを活用した業務の効率化や生産拠点・生産工程の最適化等の生産性向上により価格競争力の向上を図るといった低コスト体質の強化にも引き続き取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は前年同四半期比1,710百万円 15.3%増の12,874百万円となったものの、コスト増等から営業利益は前年同四半期比285百万円 14.3%減の1,710百万円、経常利益は前年同四半期比191百万円 9.0%減の1,943百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比240百万円 15.7%減の1,288百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

#### ① 薬品事業

主力の薬品事業は、電子部品関連向けを中心に既存製商品の販売数量が伸び悩んだものの、全般的には非鉄金属相場が高止まり、それに連動する販売単価が前年同四半期に比べて上昇したことに加え、新たに埼玉工場での二次電池用正極材受託加工が開始されたこと等により、売上高は前年同四半期比1,636百万円 17.6%増の10,948百万円となりました。

利益面では、販売数量の伸び悩みに加え、原材料や部材価格、電力費の高騰を売価に全面的に反映しえず、営業利益は前年同四半期比152百万円 8.3%減の1,670百万円となりました。

#### ② 建材事業

建材事業は、主力の住宅建材製品が堅調に推移したこともあり、売上高は前年同四半期比73百万円 4.0%増の1,925百万円となりましたが、鋼材価格高騰の売価への反映は一部転嫁できたものの、全面的には反映しえず、営業利益は前年同四半期比49百万円 9.4%減の478百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債の状況及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間における流動資産は、売上債権は減少したものの、現金及び預金、棚卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末比1,454百万円増の31,357百万円となりました。一方、固定資産は、有形固定資産が機械及び装置等の減価償却が進んだものの、本社移転に伴う内装工事等による建物の増加に加え、タイ子会社の土地を始め固定資産全体が為替の影響で増加したことから前連結会計年度末比16百万円増の7,367百万円となりましたが、保有株式の株価の下落等で投資その他の資産が前連結会計年度末比1,561百万円減の10,512百万円となったことにより、前連結会計年度末比1,563百万円減の18,021百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末比108百万円減の49,379百万円となりました。一方、流動負債は未払法人税等が減少したものの、仕入債務等が増加したことにより、前連結会計年度末比57百万円増の5,767百万円となり、固定負債がその他有価証券評価差額金減少に伴う繰延税金負債の減少により前連結会計年度末比375百万円減の1,429百万円となったことから、負債合計では前連結会計年度末比317百万円減の7,197百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比208百万円増の42,181百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.8%から85.4%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,640百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで228百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローで219百万円減少し、この結果、換算差額による影響額等も含めると、当第2四半期連結累計期間末は、前連結会計年度末に比べ1,245百万円増加し、18,032百万円となりました。また、前年同四半期比では2,311百万円の増加となり

ました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、1,640百万円の増加(前年同四半期は749百万円の資金の増加)となりました。この主な要因は、法人税等の支払額906百万円、棚卸資産の増加額406百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益1,842百万円、減価償却費485百万円、売上債権の減少額356百万円、仕入債務の増加額204百万円、利息及び配当金の受取額137百万円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、228百万円の減少(前年同四半期は529百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、保険積立金の解約による収入が198百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出277百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、219百万円の減少(前年同四半期は468百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、短期借入金純増額が96百万円あったものの、配当金の支払額が315百万円があったこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、第3、第4四半期の事業環境は依然として不透明であり、前期の薬品事業好業績の一因でもあった非鉄金属相場も低下傾向であります。当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、現在までのところ概ね予想の範囲内で推移しており、配当についても、当社の配当方針に従って2022年8月5日公表の予想から変更しておりません。

尚、今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,986,949	18,232,535
受取手形及び売掛金	7,663,838	7,444,345
電子記録債権	621,145	552,696
商品及び製品	1,677,886	1,948,870
仕掛品	1,214,952	1,423,813
原材料及び貯蔵品	1,675,852	1,665,158
その他	63,488	91,386
貸倒引当金	△1,620	△1,410
流動資産合計	29,902,493	31,357,396
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,181,628	2,133,411
その他(純額)	5,169,760	5,234,394
有形固定資産合計	7,351,388	7,367,806
無形固定資産		
	160,119	141,120
投資その他の資産		
投資有価証券	8,839,132	7,331,741
繰延税金資産	1,263	14,865
その他	3,235,096	3,167,644
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	12,073,922	10,512,682
固定資産合計	19,585,430	18,021,609
資産合計	49,487,923	49,379,005
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,702,064	2,964,284
電子記録債務	424,706	394,043
短期借入金	373,800	470,200
未払法人税等	920,305	549,429
賞与引当金	495,000	460,000
役員賞与引当金	40,000	20,000
資産撤去引当金	-	55,500
その他	753,710	854,126
流動負債合計	5,709,586	5,767,584
固定負債		
繰延税金負債	1,352,550	921,160
退職給付に係る負債	319,672	326,116
役員株式給付引当金	83,933	95,274
資産除去債務	600	39,530
その他	48,391	47,832
固定負債合計	1,805,149	1,429,913
負債合計	7,514,735	7,197,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	1,059,147	1,059,147
利益剰余金	37,009,623	37,981,285
自己株式	△790,463	△790,463
株主資本合計	38,312,308	39,283,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,308,713	2,263,150
為替換算調整勘定	278,415	568,776
退職給付に係る調整累計額	73,750	65,610
その他の包括利益累計額合計	3,660,879	2,897,537
純資産合計	41,973,187	42,181,508
負債純資産合計	49,487,923	49,379,005

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	11,163,903	12,874,525
売上原価	7,681,363	9,658,958
売上総利益	3,482,540	3,215,567
販売費及び一般管理費	1,485,809	1,504,735
営業利益	1,996,730	1,710,831
営業外収益		
受取利息	6,736	5,956
受取配当金	82,173	131,203
不動産賃貸料	36,580	36,205
受取保険金	-	5,816
為替差益	21,671	43,657
その他	17,758	35,161
営業外収益合計	164,921	258,001
営業外費用		
支払利息	3,955	4,040
賃貸収入原価	17,305	16,705
その他	4,783	4,441
営業外費用合計	26,044	25,186
経常利益	2,135,606	1,943,646
特別利益		
固定資産売却益	628	-
特別利益合計	628	-
特別損失		
固定資産除却損	15,152	45,524
資産撤去引当金繰入額	-	55,500
特別損失合計	15,152	101,024
税金等調整前四半期純利益	2,121,083	1,842,622
法人税等	592,278	553,952
四半期純利益	1,528,805	1,288,669
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,528,805	1,288,669



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	1,528,805	1,288,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	365,188	△1,045,562
為替換算調整勘定	△1,815	290,360
退職給付に係る調整額	△7,599	△8,140
その他の包括利益合計	355,773	△763,341
四半期包括利益	1,884,578	525,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,884,578	525,327
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,121,083	1,842,622
減価償却費	475,553	485,991
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	40	△210
賞与引当金の増減額 (△は減少)	65,000	△35,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,000	△20,000
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△3,712	△4,408
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,424	5,734
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△2,150	-
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5,754	11,340
資産撤去引当金の増減額 (△は減少)	-	55,500
固定資産除却損	15,152	45,524
固定資産売却損益 (△は益)	△628	-
受取利息及び受取配当金	△88,909	△137,160
受取保険金	-	△5,816
支払利息	3,955	4,040
売上債権の増減額 (△は増加)	△883,023	356,046
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△506,615	△406,650
仕入債務の増減額 (△は減少)	161,015	204,913
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△229,710	△51,806
その他	51,582	57,282
小計	1,182,809	2,407,943
利息及び配当金の受取額	89,651	137,901
利息の支払額	△3,955	△4,040
法人税等の支払額	△519,376	△906,768
保険金の受取額	-	5,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	749,129	1,640,852
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△427,295	△277,399
有形固定資産の売却による収入	628	-
無形固定資産の取得による支出	△5,075	△6,526
投資有価証券の取得による支出	△50,261	△371
生命保険積立金の解約による収入	-	198,115
生命保険積立金の積立による支出	△17,063	△17,074
その他	△30,623	△125,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△529,690	△228,359

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	667,000	686,000
短期借入金の返済による支出	△578,600	△589,600
自己株式の取得による支出	△277,783	-
自己株式の売却による収入	1,340	-
配当金の支払額	△280,463	△315,942
その他	△53	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△468,560	△219,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	903	52,762
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△248,218	1,245,585
現金及び現金同等物の期首残高	15,969,731	16,786,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,721,512	18,032,535

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これにより、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,311,951	1,851,952	11,163,903	—	11,163,903
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,311,951	1,851,952	11,163,903	—	11,163,903
セグメント利益	1,822,151	527,884	2,350,036	△353,306	1,996,730

(注) 1. セグメント利益の調整額△353,306千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,948,615	1,925,910	12,874,525	—	12,874,525
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,948,615	1,925,910	12,874,525	—	12,874,525
セグメント利益	1,670,093	478,353	2,148,447	△437,615	1,710,831

(注) 1. セグメント利益の調整額△437,615千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	7,757,105	1,851,952	9,609,057
海外	1,554,845	—	1,554,845
計	9,311,951	1,851,952	11,163,903

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	8,667,531	1,925,910	10,593,442
海外	2,281,083	—	2,281,083
計	10,948,615	1,925,910	12,874,525